

動画に複数画面を表示



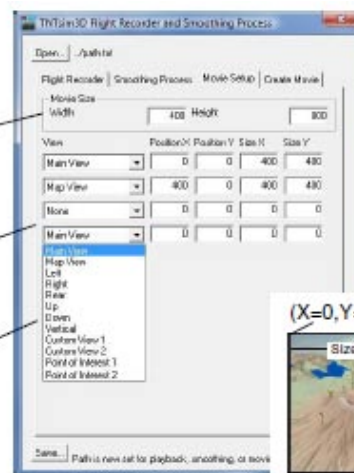
フライトレコーダースクリプトを使うと、TNTsim3Dにおいて飛行経路を記録したり利用したりすることができます。またその経路を用いて動画の作成も可能です。このスクリプトの基本的な操作や機能についてはテクニカルガイドの“TNTsim3D: Making Movies”で解説しています。TNTsim3Dではたくさんの表示ウィンドウを開いたり定義したりすることができます。4つまでの動画であれば時間を同期させて1つの動画にまとめることが可能です。1つの簡単な使い方は、飛行機から見た景色の前方の眺めと地図の平面図を組み合わせる1つの動画にするというものです。動画にすると、飛行機が通った経路を上から見た様子を地図の上で追うことができます。また、3台のモニターを使って、それぞれのモニターに違う角度から眺めた同時刻の動画を表示することも可能です。

スクリプトから作られる対話画面を使って、眺めを組み合わせる動画がどのように見えるかをデザインすることができます。Movie Set Up パネルを使うと、動画に使う画像を選択したり、動画の中に占めるそれぞれの眺めの画面の高さ、幅、位置を指定することができます。まとめる画面の位置とサイズに注意して、動画の高さと幅を指定してください。スクリプトの初期設定では、高さと同幅がともに400ピクセルで前方の画面と地図の画面を含む動画が作られます。

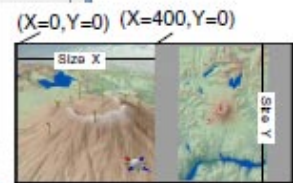


一度 AVI や MPEG、WMV 形式で出力のムービーファイルを作れば、ビデオコーデックを選択して圧縮することができます。コーデックリストのウィンドウにはそのOSにインストールされている全てのコーデックが表示され、どれを選択しても圧縮することができます。圧縮した動画の画質が圧縮前のものと違うことがあるかもしれません。ビデオコーデックを選択しなかった場合は、圧縮されない動画が作られます。

高さと幅をピクセルで指定して動画のサイズを設定します。
動画の各画像の位置とサイズを指定します。
動画に含める画像を選択します。



上の図は、前方の画面と地図の画面が組み合わされているものです。(初期設定)
左の図は、1つの動画に複数の眺めの画像を設定する際の初期設定です。



ビデオコーデックをリストから選択して、データサイズの小さい動画を作ることができます。

Movie Set Up で動画に含める画像は、記録中、TNTsim3D の中に開いたままにしておいて下さい。